

平成 20 年 10 月 24 日

国土交通省 道路局長 様

小海町長 小池 民夫



今後の道路行政についての意見・提案について

平素は当町の土木行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙のとおり意見提案書を送付いたします。何卒よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見提案

②—1地域の現状と抱える課題

長野県 小海町

○ 現状 小海以南の地域では迂回路が無く、国道141号が通行止めになると閉ざされてしまう。以前に千曲川の増水により海の口地籍で通行止めがあり、大きな混乱を招いた。また、国道141号は道路幅が狭く、ひとたび交通事故がおきると大渋滞を引き起こす。 小海町には佐久総合病院の分院と診療所があり便利であるが、婦人科、循環器、高度医療については佐久市の本院でなければ受診できない。現在本院は旧臼田町にあるが、もともと北の岩村田方面へ移転する構想があり南佐久にとってはおおきな不安がある。また、産婦人科については南佐久郡にはない状況である。	○ 課題 小海以南は特に危険な場所が多いので中部横断道の整備が望まれる。また、国道・県道の改良も緊急性がある。佐久南部地域に計画されている広域農道についても小海以南については計画が未採択である。 県内の医療施設数も年々減少しているなか、若い人の出産にも影響が出ている。このような医療不安を解消するためにも、時間短縮のための道路整備が必要である。
---	---

今後の道路行政についての意見提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県 小海町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	中部横断道（八千穂IC～長坂JCT）整備	高原野菜の消費拡大に期待している。特に静岡・愛知方面。鮮度が大事な高原野菜にとって市場での早いセリに掛かること、早く店頭に出ることは重要。道路整備により荷傷みの減少は生産者にとって有利になり新たな市場への取り組みも可能となる。 東海、中京、大阪方面からの誘客を考えるとアクセスが悪い。中央道、関越道のインターチェンジからどちらからも1時間くらいかかってしまう。道路整備されることで他の観光地から佐久地区を周遊する観光客を見込める。特に中部横断道の全線開通により、東海方面からは所要時間が半分になり大幅な増加が見込まれる。 緊急医療体制の整っている総合病院までは、朝夕の通勤時間帯には国道141号線を利用すると40分以上の時間を要し、県道上佐久線は数箇所狭道の箇所があり利用しにくい現状にある。整備により大幅な時間短縮になる。 国道141号のバイパスとしての利用が考えられる。小海以南は勾配もきつく、冬期間に道路が凍結し多くの事故が発生している。また、大型車が減少することにより幅員の狭い歩道を歩く歩行者の危険も軽減される。	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化			